

精神保健福祉施策をめぐる国の動向について

1 令和5年度障害保健福祉関係予算案の概要

- 令和5年度障害保健福祉関係予算案は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部全体として2兆0,157億円を計上（対前年度 944億円増 4.9%の伸び）
- 障害保健福祉関係予算の大宗を占める障害福祉サービスや障害児支援に係る給付のための経費は、1兆9,055億円を計上（対前年度1,095億円増 6.1%の伸び）
- 主要課題として、昨年に続き精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が挙げられている。

2 精神保健福祉関係の主な施策

○ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障がい者が地域の一員として安心して自分らしく暮らせるよう、都道府県等と精神科病院等との重層的な連携による支援体制を構築するなど、地域包括ケアシステムの構築に関する取組を推進。

また、市町村長同意による医療保護入院患者等を対象とした実効的な支援のため、都道府県等において、訪問支援員が精神科病院を訪問し、患者の話を丁寧に聴きつつ必要な情報提供を行う体制の構築を図るもの。

令和5年度予算額：7.6億円（対前年比：▲0.4億円）

○ アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症対策の推進

依存症対策の全国拠点において、オンライン等を活用した人材養成や調査研究に取り組む。また、都道府県等において、依存症対策についての人材養成や医療・相談支援拠点を整備するとともに、地域の関係機関が参画する包括的な連携を推進し、早期発見・早期対応につなげる。さらに、自助グループ等の民間団体を支援するもの。

令和5年度予算額：8.4億円（対前年比：▲1.1億円）

- その他、こころのサポーター養成事業については、令和5年度がモデル地域における養成研修実施の最終年度となり、前年度と同額の28百万円が計上されている。

※ 本県は令和4年度にモデル地域に手上げし養成研修を実施済み。